

「三菱アジア子ども絵日記フェスタ」学習指導案

日時：〇〇〇〇年 △ 月 □ 日（☆） **～++（3校時）

対象：小学校4年生～6年生

教材：「アジアのみんなが描いた『絵日記』で見る私たちの未来」

授業の狙い：対象児童が、アジアの同世代の子どもたちが描いた絵日記の内容を通じ、持続可能な開発目標について、身近な話題を題材に、それが自分たちにも関わり、また世界共通の課題であることを理解する。

サブ目標

- （1）アジアの同世代の子どもたちが貧困、識字、性差別、環境などの問題に直面していることを理解する。
- （2）日本の同世代の子どもたちも、同じアジア地域の一員であり、日本はこれらアジアの国々と深く関わっていることを理解する。
- （3）なぜアジアの子どもたちも日本の子どもたちも、社会が直面する問題とその未来について学ぶ必要があるのか、持続可能な開発目標（SDGs）の概念を通じて理解する。
- （4）持続可能な開発目標（SDGs）のうち、とくに絵日記のテーマであるSDG 2,4,5,12,13,14,16についてその重要性と具体的な課題・目標を理解する。
- （5）自分たちが大人になった時に、身近な地域、日本、世界がどのような場所になっているかを想像する。

授業進行

パート区分	プロット	内容・手段	時間
一時限目			45分
1	導入①	<p>本授業の趣旨を説明する [スライド 2]</p> <p>児童への質問</p> <ul style="list-style-type: none"> 2030年にみんなは何歳になっているかな？ [スライド 3] (挙手・発言) みんなの住んでいる場所はどこかな？ [スライド 4] (挙手・発言) 	3分
2	導入②	<p>導入①を受けて、「2030年の世界はどんな場所になっているかな？」 [スライド 4] を以下の問題ごとに児童に問いかけてみる。それぞれ二択の質問に挙手してもらい、その理由について発言してもらおう [スライド 5～11]</p> <ul style="list-style-type: none"> 食事は十分あるか？その理由は？ [スライド 5] 全員学校へ通えているか？その理由は？ [スライド 6] ジェンダー平等は実現したか？理由は？ [スライド 7] 資源のムダはなくせているか？理由は？ [スライド 8] 気候変動はどうなっている？理由は？ [スライド 9] 海岸のゴミはなくせている？理由は？ [スライド 10] 戦争やテロはなくせている？理由は？ [スライド 11] <p>導入の最後に、「では結局、2030年はどんな世界になっているのだろうか？」を総括して、児童に近未来の問題についての当事者意識を持ってもらおう。</p> <p>→ ではアジアのみんなはどんなことを考えているのかな？</p>	3分
3	「三菱アジア子ども絵日記フェスタ」について	<p>三菱アジア子ども絵日記フェスタについて説明 [スライド 13]</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵日記フェスタの趣旨・概要を説明し、絵日記作品を見てもらうことを伝える。国によって絵柄の違い、内容の違い、文字の違いなどがあることを説明する。 絵日記のテーマは「伝えたい私の生活」 アジア地域についての説明 [スライド 14] 	3分
4	カンボジア王国の小学生が描いた絵日記から学ぶ①	<p>カンボジア王国についての説明 [スライド 15・16]</p> <ul style="list-style-type: none"> カンボジアの位置、人口、言語などの概要を伝える。 トリビア <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産の魅力 (アンコールワットなど) 	2分

5	カンボジア王国の小学生が描いた絵日記から学ぶ②	<p>ボアーン・サラクフィさんが描いた絵日記を観察する</p> <ul style="list-style-type: none"> 何が描かれているかを推理する [スライド 17] (指名)。 作文部分を読んでみる。読んだことから、何がこの絵日記のテーマであるのかを考える。 [スライド 18] 絵の部分を再びみて、絵日記のテーマを理解する (指名) [スライド 19]. 問いかけ：「サラクフィさんも畑仕事をしなければいけないのはどうしてなのかな？」 ミニ振りかえり： <ul style="list-style-type: none"> カンボジアは日本と同じ稲作文化の国である。 子どもも労働をしなければならない背景を考える <p>カンボジアでは学校教育はどうなっているのかを考えてもらおう。</p>	10分
6	パキスタン・イスラム共和国の小学生が描いた絵日記から学ぶ①	<p>パキスタンについて説明 [スライド 20 および 21]</p> <ul style="list-style-type: none"> パキスタンの位置、人口、言語などの概要を伝える。 人口の多いイスラム教国であることがわかれば可。 トリビア <ul style="list-style-type: none"> 人口が日本よりも多い。 インド、アフガニスタンと隣接する南アジアの大国 	2分
7	パキスタン・イスラム共和国の小学生が描いた絵日記から学ぶ②	<p>ライバショアム・アーマドさんが描いた絵日記を観察する</p> <ul style="list-style-type: none"> 何が描かれているかを推理する [スライド 22] (指名)。 作文部分を読んでみる。読んだことから、何がこの絵日記のテーマであるのかを考える。 [スライド 23] 絵の部分を再びみて、絵日記のテーマを理解する (指名) [スライド 24]. 問いかけ：「友だちのニールムさんが仕事と勉強を両立させなければならないのはどうしてなのかな？」 ミニ振りかえり： <ul style="list-style-type: none"> パキスタンは南アジアのイスラム教の大国である。 仕事と勉学を両立する友だちの姿が「お手本」になっている背景を考える <p>パキスタンの学校教育はどうなっているのかを考えてもらおう。</p>	10分

8	ネパールの小学生が描いた絵日記から学ぶ①	<p>ネパールについて説明 [スライド 25 および 26]</p> <ul style="list-style-type: none"> • ネパールの位置、人口、言語などの概要を伝える。 • インド文明圏に属するが独自の文化伝統を持つ国。 • トリビア <ul style="list-style-type: none"> ➢ ヒマラヤ山脈を持ち、世界最高峰エベレストがある。 ➢ 釈迦聖誕の地で仏教の発祥の国（日本との文化的つながりの気づき）。 ➢ 王国の長い伝統があったが、現在は民主制。 	2分
9	ネパールの小学生が描いた絵日記から学ぶ②	<p>アビナス・レグミさんが描いた絵日記を観察する</p> <ul style="list-style-type: none"> • 何が描かれているかを推理する [スライド 27]（指名）。 • 作文部分を読んでみる。読んだことから、何がこの絵日記のテーマであるのかを考える。[スライド 28] • 絵の部分を再びみて、絵日記のテーマを理解する（指名） [スライド 29]. <ul style="list-style-type: none"> ・ 問いかけ：「男の子は学校に行き、女の子は皿を洗っているというけど、なぜなのかな？ どうして男の子と女の子で違うことをしているだろう？」 • ミニ振りかえり： <ul style="list-style-type: none"> ・ ネパールは日本と深い文化的つながりがある。 ・ ジェンダー平等（SDGs 5）から見て、男女の子どもが違う扱いを受けている現状の課題と背景を考える。 <p>ネパールの学校教育ではジェンダーについてどう教えられているのか、本人たちはどう考えているのかを想像してもらおう。</p>	10分

二時限目			45分
1 0	一時限目のおさらい 二時限目の導入	カンボジア、パキスタン、ネパールの小学生の絵日記がテーマとしていたもの（課題）を振り返る。 1) この3国で描かれていた問題ははたして日本とは無関係なのかを児童に考えてもらう。 2) これらの問題について、それでは他のアジア諸国の小学生がどんな状況に置かれているかを絵日記で見ようという導入の説明を行う。	9分
1 1	インドネシア共和国の小学生が描いた絵日記から学ぶ①	インドネシアについての説明 [スライド 30 および 31] <ul style="list-style-type: none"> • インドネシアの位置、人口、言語などの概要を伝える。 • グローバルサウスを代表する影響力の強い発展途上国。 • トリビア <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口は日本の約2倍ある人口大国。 ➢ 世界最大のイスラム教国。 ➢ 日本とは経済、文化、人的交流などで関わりの深い国。 	2分
1 2	インドネシア共和国の小学生が描いた絵日記から学ぶ②	デサック・プートゥ・ブンガラディヤPさんが描いた絵日記を観察する <ul style="list-style-type: none"> • 何が描かれているかを推理する [スライド 32] (指名)。 • 作文部分を読んでみる。読んだことから、何がこの絵日記のテーマであるのかを考える。[スライド 33] • 絵の部分を再びみて、絵日記のテーマを理解する (指名) [スライド 34]. <ul style="list-style-type: none"> ・ 問いかけ：「デサックさんの村ではごみの分別はきちんと行われているのでしょうか？それはなぜかな？」 • ミニ振りかえり： <ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシアは日本にとって重要なパートナー国。 ・ 有機ゴミとそれ以外のゴミを分別している絵が現実なのかデサックさんの願望（理想）を表しているのかを考えてもらう。 ・ ゴミ分別が進まない現状の背景について考える。 <p>インドネシアの学校ではごみ分別をはじめ環境問題について、どう教えられているのだろうか？と問いかけてみる。</p>	10分

1 3	ラオス人民民主共和国の小学生が描いた絵日記から学ぶ①	<p>ラオスについての説明 [スライド 35 および 36]</p> <ul style="list-style-type: none"> • ラオスの位置、人口、言語などの概要を伝える。 • 隣接するタイや中国とも文化的・民族的に関係の深い国。 • トリビア <ul style="list-style-type: none"> ➢ タイと同じく伝統的に熱心な仏教国。 ➢ 中国と同じく社会主義体制による一党独裁国家。 	2分
1 4	ラオス人民民主共和国の小学生が描いた絵日記から学ぶ②	<p>ヴァニーダ・サイテウンさんが描いた絵日記を観察する</p> <ul style="list-style-type: none"> • 何が描かれているかを推理する [スライド 37] (指名)。 • 作文部分を読んでみる。読んだことから、何がこの絵日記のテーマであるのかを考える。 [スライド 38] • 絵の部分を再びみて、絵日記のテーマを理解する (指名) [スライド 39]. <ul style="list-style-type: none"> ・ 問いかけ：「地球温暖化への対策として植樹が行われていますね。これは効果があるのでしょうか？ また日本でも同じような取り組みが行われているのでしょうか？」 • ミニ振りかえり： <ul style="list-style-type: none"> ・ ラオスでは地球温暖化の問題が子どもたちにも伝えられている (環境教育) 。 ・ 木を植えることの意味や効果を環境教育の課題として考えてもらう。 ・ 日本では地球温暖化に対してどのような取り組みが行われているかをふり返る。 <p>ラオスで気候変動の問題 (地球温暖化) がこれだけ意識されている背景を問いかけてみると新たな気づきにつながりうる。</p>	10分
1 5	モルディブ共和国の小学生が描いた絵日記から学ぶ①	<p>モルディブについての説明 [スライド 40 および 41]</p> <ul style="list-style-type: none"> • モルディブの位置、人口、言語などの概要を伝える。 • インド洋に浮かぶリゾート地で「アジアの楽園」とも呼ばれる。サンゴ礁などでも有名。 • トリビア <ul style="list-style-type: none"> ➢ イスラム教の伝統を持つ国。 ➢ イギリス連邦に加盟するが中立政策を進めている。 	2分

16	モルディブ共和国の小学生が描いた絵日記から学ぶ②	<p>アーラ・ムハマドナウ・シャドゥさんが描いた絵日記を観察する</p> <ul style="list-style-type: none"> • 何が描かれているかを推理する [スライド 42] (指名)。 • 作文部分を読んでみる。読んだことから、何がこの絵日記のテーマであるのかを考える。[スライド 43] • 絵の部分を再びみて、絵日記のテーマを理解する (指名) [スライド 44]. <ul style="list-style-type: none"> ・ 問いかけ：「海洋でのゴミでカメが苦しんでいる姿が描かれています。日本でも同じような問題が起きていないでしょうか？ どんな対策が取られていますか？」 • ミニ振りかえり： <ul style="list-style-type: none"> ・ バア環礁はユネスコの生物保護区に指定されているにもかかわらず、海洋ゴミによりカメなどの生物が苦しめられている (海洋教育の課題)。 ・ 海洋ゴミが私たちの生活にどのような影響を及ぼすか、またどうしたら海洋ゴミなど海の環境汚染を防いでいくことができるかを考えてもらう。 ・ 日本では海洋ゴミの問題に対してどのような取り組みが行われているかをふり返る。 <p>「アジアの楽園」と言われるモルディブのような国ですら海洋汚染がこれだけ深刻である現実への気づきを促し、普遍的課題としての海洋教育の重要性への意識づけにつなげてゆく。</p>	10分
----	--------------------------	---	-----

三時限目			45分
17	二時限目のおさらい 三時限目の導入	インドネシア、ラオス、モルディブの小学生の絵日記がテーマとしていたもの（課題）を振り返る。 1) この3国で描かれていた問題ははたして日本とは無関係なのかを児童に考えてもらう。 2) これまで見てきたアジア諸国の小学生たちの絵日記から浮かび上がってきた課題とは何かを考えてみる。それをふまて、もう一カ国の子どもの絵日記を見てみようとする。 → スリランカの絵日記へ 3) こうした共通の課題に対して、人類社会は何かできるのかもあわせて考えてみる。	5分
18	スリランカ民主社会主義共和国の小学生が描いた絵日記から学ぶ①	スリランカについての説明 [スライド 45 および 46] <ul style="list-style-type: none"> • スリランカの位置、人口、言語などの概要を伝える。 • インド洋に浮かぶ島国で歴史的に日本とも関係が深い。 • トリビア <ul style="list-style-type: none"> ➢ 伝統的な仏教国（上座部仏教）。 ➢ シンハラ人とタミル人との民族紛争に悩まされてきたが、内戦の終結により経済成長を続けている。 ➢ イギリスの植民地だった関係でイギリス連邦に加盟するが、中立政策を進めている。 	2分
19	スリランカ民主社会主義共和国の小学生が描いた絵日記から学ぶ②	K. T. タサンディ・ディルマニ・アベワルダナさんが描いた絵日記を観察する <ul style="list-style-type: none"> • 何が描かれているかを推理する [スライド 47]（指名）。 • 作文部分を読んでみる。読んだことから、何がこの絵日記のテーマであるのかを考える。 [スライド 48] • 絵の部分を再びみて、絵日記のテーマを理解する（指名） [スライド 49]. <ul style="list-style-type: none"> ・ 問いかけ：「友人のマドウアンさんがテロリストの地雷をふんで足をけがしてしまったとありますが、なぜ身近なところに地雷などがあるのでしょうか？」 • ミニ振りかえり： <ul style="list-style-type: none"> ・ 民族紛争やイスラム教との対立により地雷が今でも生活の安全を脅かし続けている厳しい現実がある。 ・ 平和で安全な生活を取り戻すには、価値観の違う民族や宗教の間の対立をどう防いでいくかを考えなければならない。 	10分

		<ul style="list-style-type: none"> 日本では地雷によって命を失ったりケガをしたりする人はほとんどいないが、価値観の違いによる民族や宗教の対立ははたして他人事だろうか？ <p>片足を失ってしまった友人の痛々しい姿を描いた絵日記を通じて、民族や宗教の対立による紛争やテロが私たちの当たり前の日常の平和を奪い去ってしまうという厳しい現実子どもたちの目を向けてゆく。それを通じて国際理解の重要性を実感できるように導いていく。</p>	
20	<p>持続可能な開発目標 SDGsを学ぶ①：導入</p>	<p>SDGs とは何かについて、概略を理解する[スライド 50-54]</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入として、SDGs ロゴを見たことがあるか聞く（挙手）。 <ul style="list-style-type: none"> この虹色みたいなマークを見たことがあるかな？ 何のマークだろう？ <p>SDGs の目標をいくつか理解する[スライド 55-61]</p> <ul style="list-style-type: none"> 飢餓（SDG 2）、教育（SDG 4）、ジェンダー平等（SDG5） 生産と消費（SDG 12）、気候変動（SDG 13）、海洋保護（SDG 14）、平和と公正（SDG 16）それぞれについて簡単に紹介する。 ここで紹介されたSDGsの課題が先の紹介したアジアの子どもたちの絵日記とどのようにつながっているかを説明する。 <p>SDGs はなぜ必要なのかを理解する [スライド 54]</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで見てきた絵日記作品で描かれている深刻な問題をふまえ、平和で持続可能な世界を作っていく取り組み（SDGs）が私たちの幸せな人生を保障するためにいかに必要不可欠であるかを確認する。 あわせて日本人である自分たちもSDGsの当事者であることをあらためて確認する。 	10分

2 1	<p>持続可能な開発目標 SDGsを学ぶ②：絵日記 ワーク</p>	<p>SDGsの知識をふまえ、2030年の〇〇歳のあなたが持続可能な社会づくりのために何ができるかを当事者として考えてもらい、ワークシートに絵と文章で記述する [スライド 62・63]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「持続可能な世界を築くためには、何をしたらいいだろう？」 「SDGsの達成のために自分はどんなことができるだろう？」 <p>最後は自分自身も「絵日記」の創り手になり、当事者として授業を終了する。</p>	10分
2 2	<p>まとめ：2030年の私と アジアの友だち</p>	<p>1) 2030年の自分が、何歳でどこに住み、どのような人生を歩んでいるかをもう一度想像してもらい、夢と課題を発表する。</p> <p>2) 「授業で紹介したこれらの絵日記を描いてくれたアジアの6人の友だちと出会うことができたなら、あなたは何を伝えたいですか？」と問いかけ、やり取りを想像してみる。</p>	5分
2 3	<p>最後に：自分たちのできることを考える。</p>	<p>ワークシートや発表内容などを、今後の行動に活かせることを考えてもらい、終了する。</p>	3分

※トリビアについては、あくまで「補足情報」ですので、学年や時間など状況に応じて活用ください